

一般質問

市政を問う

定例会では、市政全般について議員から一般質問が行われます。今回は23人の議員が質問に立ち、39項目について行政の対応を質しました。掲載内容は、その要約です。 ※発言順に掲載

会議録の閲覧と検索

質疑や答弁などの詳細は、会議録で全文を確認出来ます。
 ➤第4回定例会の会議録は、2月下旬から図書館・市図書室で閲覧出来ます。
 ➤会議録検索システムは、2月下旬から市議会のホームページで利用出来ます。

インターネット中継

本会議の様子を市議会のホームページからご覧ください。
 ➤生中継は本会議当日のみ。
 ➤録画中継は、本会議当日の4日後（土曜・日曜日、祝日を除く）から。
 ➤スマートフォンやタブレット端末からでもご覧いただけます。

田原 茂

（公明党）

公共施設のアセットマネジメントと街づくりについて

■ 今後の考え方について
 図書館のレファレンス機能について問う
 産業振興の支援。市民が集う機会づくりを進め、起業支援やビジネス支援につなげます。
 学校司書の配置について問う
 学校司書の配置について問う
 今後は司書資のある学校司書を配置する予定で、民間活力の導入を検討します。

鈴木 洋子

（自由民主党）

を考慮した保育のあり方。今改めて問う

■ 待機児童解消と注目されている企業主導型保育所について現状と今後を問う
 若者の消防団入り促進に関して市の見解を問う
 現在市内に設置されているのは1施設のみで、市内在住の利用児童は数名です。今後、国が整備を進めるかは未定ですが、幼児教育無償化による保育需要への影響や待機児童などの動向を踏まえ、開設希望事業者からの相談に対応します。

白井 菜穂子

（無党派）

反映させるかを問う。農ある暮らしづくり協議会で提案いただいた意見を施策に反映します。

■ みんながホッとできる場所があるまちづくり
 市民農園や農業体験農園について問う
 都市農地の賃借の円滑化に関する法律が施行されたことにより、生産緑地を借用した農園事業が可能となったため、新規開設に向けて努力しています。今後も関係部署と連携して地域の集いの場を作りたいと考えます。

新井 智陽

（無党派）

地下水モニタリング調査を要請しました。

■ 日野市地域公共交通総合連携計画に向けた新しい交通システムの検討と、交通空白地域対策について
 どのようなことをポイントに対策の優先度を決めていくのか。
 今後、さらなる高齢化が予測される中、優先度を平面的から高低のへと見直し、地域からの要望を積極的に支援する考えで取り組みます。

峯岸 弘行

（公明党）

市の対応を問う。今後は先進市を参考に、実施可能な取り組みを検討します。

■ 障がい者支援策について問う
 障がい者の防災対策について問う
 総合防災訓練や合同水防訓練の会場で隣接する福祉施設と連携して、要支援者に配慮した訓練を実施し、積極的に参加を呼び掛けます。
 合唱を通じたまちづくりについて問う
 指導者としての模範授業を広く公開して、教員の指導力の向上や後進の育成に尽力します。また、地域のイベントに加え、日野市民合唱祭などへの中学校3校の合唱部の参加も検討します。

大高 哲史

（日本共産党）

い施設として優先的に位置づけました。

■ 地域核の要望として基本構想策定があり、策定後の説明会において、ある程度理解をいただいていると思います。また、この地域で移転計画を進めるには地権者の方や周辺住の合意と理解が必要であり、今後も丁寧な説明とします。

岡田 旬子

（日本共産党）

と認識しています。今後はどのような改善を図る予定か。

■ 平成29年度より働き方改革検討委員会を設置し、協議を続けています。教員の意識改革も重要な要素であり、部活動改革や教材研究のさらなるICT活用など、できることが実施していくことが重要です。その際に、地域や家庭の理解と協力の増加、学校教育の社会や家庭からの期待、要請の増加などが挙げられ、教育活動が増え、

奥住 匡人

（自由民主党）

な検討や協議が必要と考えます。

■ 高幡複合施設の建設についての見解を問う
 民間活用の導入を含め、複合化の前提とした施設の検討を行い、今年度はモデルプランを作成します。
 落川、百草地域における道路の課題について問う
 ライフステージに合わせて住みかえができる仕組みを検討します。
 土砂災害防止法の警戒区域指定された緑地信託地の今後について問う
 緑地の公有化優先度の基準など、個別具体的な検討を進めます。

池田 利恵

（自由民主党）

け、交付金を活用しながら複数系統の改修を進めます。

■ 災害時に助けを受ける「受援計画」の策定に着手せよ
 災害時に他自治体などからの支援を円滑に受け入れ、被災地支援につなげていくための体制などを定める、受援計画の策定予定について問う
 来年度、東京都から公表される予定の受援計画策定ガイドラインを踏まえ、策定を進めます。

馬場 賢司

（公明党）

レス会議を導入しました。自治体で導入が進むA1やRPAについて市の考えを問う。

■ 業務効率化の視点で期待ができるため、質の高い市民サービスの提供に向け、さまざまな角度から検討します。
 市が主催するイベントのコーディネートについて問う
 事業の検討を行う段階から、市民と市の役割分担の見直しなども含めイベントのあるべき姿を検討します。

清水 登志子

（日本共産党）

の命と健康を守れ

■ 国保税の値上げと今後の公平負担を問う
 公平な税負担の観点から、標準保険料率によって赤字解消を目指したい。また、国保の運営に必要な事務経費は、引き続き一般計から繰り入れをします。
 国保の減免制度について問う
 低所得者や子どもに対する軽減措置の必要性は認識していますが、現時点では市独自の減免制度は考えていません。

近澤 美樹

（日本共産党）

クリーンセンター連絡協議会への参加表明のない2自治会への対応について問う。

■ 協議会の開催前及び後に、議題や協議した内容などを情報提供します。
 プラごみの分別収集手数料は無料にすべきだと思いが、市の考えを問う
 プラごみの発生回避が第一ですが、都へ拡大生産者責任の強化の要望を継続しつつ、処理には費用がかかるため、現在と同額負担をお願いしながら、国と協議中です。

伊東 秀章

（無党派）

下水道基金の積み立ては有効な手段ですが、回収率が低い日野市にはなじまないと考えます。

■ 下水道事業の現状について問う
 下水道使用料金は、都下26市の中で4番目に高額ですが、汚水処理経費回収率が低いという現状を踏まえ、一般計からの繰入金で財源を補充している状況です。
 下水道事業の基金に対する市の考えを問う。

大塚 智和

（公明党）

り組みを問う。

■ 日野市国際交流協会と連携し支援を行っています。また、昨年度を市からのお知らせなどを専門業者の翻訳委託で実施しており、多言語化を積極的に進めています。
 市として組織構築が必要ではないか。
 外国人との共生の視点は全ての部署で持つ必要があり、他市の取り組みなどを参考に、所管する組織なども含めた検討をしていく必要があると思います。

奥野 倫子

（無党派）

障がい者の災害時の対応について問う。

■ 災害時の避難などの手順を記載した「災害時お役立ちガイド」を作成し、避難行動要支援者全員に配布しています。
 障がい者差別解消推進法について問う
 事例所における障がい者に対する合理的配慮の提供を義務化する予定ですが、環境整備などの負担が想定されるため、都や他市の動向に注視し、財政支援も検討します。

森沢 美和子

（無党派）

国と連携して、市に

■ 高齢者分野で先行導入した地域包括ケアシステムの理念や仕組みを活用し、精神障害者を含む障害者が幅広い支援を受けられるよう、保健医療や福祉関係者が情報共有を通じて支援する仕組みを構築します。

有賀 精一

（無党派）

とが難しい状況であるため、外部相談窓口の開設準備を進めます。

■ 旭が丘地区センター建物周囲の未整備について問う
 完成時の業者との検査の際、地区センター前の石が突出している場所を事前に指摘したのか。
 現認していますが、建設業者に確認したところ、工事を行った場所ではなく、表層の土が除去されて子が突出したものであり、今後対応します。

政府等へ意見書

第4回定例会で可決された意見書は4件で、関係各機関に送付しました。要旨は次のとおりです。
 （全文は、市議会ホームページに掲載）
 ■ 学校図書館への支援を求める意見書
 児童・生徒の学習環境を豊かにする学校図書館の機能を拡充するため、①学校図書館への学校司書の配置に伴う財政支援及び司書教諭の担当時間数の軽減措置②学校図書館図書標準③学校図書整備を図るための財政支援の拡充を求めます。
 ■ 森林環境税の活用に関する意見書
 森林環境税及び森林環境譲与税の創設にあたり、①都内区市町村の譲与税の活用に関する担当窓口の設置②譲与税が、都の森林のために活用されるよう働きかけること③譲与税を活用した林業従事者育成のための諸施策の

窪田 知子

（公明党）

まるなどの弊害がないよう、さまざまな視点から検討し、深い水路や危険性の高いところなど、要望のあった箇所にステップを設置します。

■ 国民健康保険制度と健康づくりに関して
 国保広域化によるメリットを問う
 都内での転出であれば、資格が喪失することなく継続されるため、高齢医療費が通算できるようになりました。

古賀 壮志

（自由民主党）

目指します。

■ 学校図書館について
 学校図書館に求められていることは、読書センター、学習センター、情報センターの3つの機能に合わせて、読書好きの子どもが増えるような環境整備を進めます。
 第5次学校図書館整備5カ年計画について問う
 専門的知識や技能を持つ学校司書のさらなる配置拡充を目指します。

谷 和彦

（自由民主党）

安全安心のまちづくりバス停周辺の危険箇所を検証ほか、

■ 横浜市での事故を受け、市での対策を問う
 改善が必要なバス停は、移設も視野に入れて対策を図ります。
 災害時の避難行動について
 特定生産緑地制度を活用するため、説明会を実施しています。また、生産緑地の賃借制度推進のため、講演などで普及啓発を行います。

秋山 薫

（無党派）

容を検討します。

■ 自主防災組織について問う
 災害時には、地域をよく知る自治会や自主防災組織などによる地域防災力が重要と考え、自主防災組織への支援などで共助の強化を図ります。
 感覚ブレーカー設置補助制度について問う
 感覚ブレーカーは、地震による停電後の火災対策として有効な手段であるとして認識しています。今後、消防庁や他市の動向を見ながら検討します。

白井 菜穂子

（無党派）

反映させるかを問う。農ある暮らしづくり協議会では、協議会事務局へ問合せをお願いします。

■ 空きの活用について問う
 平成28年から開始したマッチング制度では8名が空き家活用されています。今後も関係部署と連携して地域の集いの場を作りたいと考えます。

島谷 広則

（無党派）

用途廃止予定公営住宅入居者の移転について問う。

■ 事業について問う
 事業開始から36組の相談があり、10組の方が住居確保に至りました。
 今後の取り組み強化について問う
 日野市居住支援協議会に課題解決を図り、入居支援が進むよう他市の事例を参考に研究を進めます。また、弁護士などの専門家と連携し、支援体制の拡充を検討します。

中野 昭人

（日本共産党）

開発事業から地下水・黒川湧水を切り抜くために！いま市に求められていること

■ 湧水の白濁及び枯渇問題の解決に向けた市の基本方針について問う
 既に各種専門家による第三者委員会を設置しており、その中で議論された結果を開発事業者は最大限尊重することで合

秋山 薫

（無党派）

容を検討します。

■ 自主防災組織について問う
 災害時には、地域をよく知る自治会や自主防災組織などによる地域防災力が重要と考え、自主防災組織への支援などで共助の強化を図ります。
 感覚ブレーカー設置補助制度について問う
 感覚ブレーカーは、地震による停電後の火災対策として有効な手段であるとして認識しています。今後、消防庁や他市の動向を見ながら検討します。

皆さんからの 請願

第4回定例会では、4件の請願が提出され、所管の常任委員会で審査が行われました。定例会最終日の本会議の審議結果は、次のとおりです。

付託先	請願の件名	結果
企画総務委員会	日米地位協定の抜本改定を求める意見書の提出を求める請願	不採択
民生文教委員会	国民健康保険税の値上げ中止を求める請願	不採択
環境まちづくり委員会	降雪時の生活道路への対応など除雪対策の充実を求める請願	不採択
	プラスチック類の分別収集の無料化を求める請願	不採択

市議会では、市民の意見や要望を積極的に受け取り、市政の改善に努めています。市議会事務局へお問い合わせください。

